



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.18
令和5年2月3日
文責：校長 福島



おべんとうの日



今日は「おべんとうの日」でした。

朝、子供たちはランチバックを手に持ち、ニコニコしながら登校してきます。いつもとちょっとだけ違うことがあるだけで、こんなにもわくわく感が高まるんだなあ、なんだか私もうれしい気持ちになりました。「お弁当持ってきましたね。」話しかけると「持ってきました！」弾んだ声が返ってきます。「校長先生、朝早く起きてお母さんと一緒にお弁当作ったんですよ。」うれしそうに話しかけてくる子もいます。

12時30分 おべんとうの時間になりました。教室を回ってみました。

1年生の教室に行くと「校長先生来てください。このタコさんウイナー私が作ったんですよ。」「こっちにも来てください。」「こっちも。こっちも。」みんな自慢のお弁当を見せたてたまらないのですね。

6年生の教室ではこんな話も。「6時に起きて自分で作る予定でしたが、寝坊しちゃって起きたらおべんとうがテーブルの上にあります！」感謝感謝。小学校最後のおべんとうでした。

どの教室もおいしそうなおいと子供たちの笑顔があふれていました。

コロナ禍の影響で、給食時間の光景はすっかり変わりました。机を前に向け、黙々と食べる様子が3年間続きました。3年生まではグループで顔を向き合わせ、楽しく食べることを経験していません。本年度は大きな声でなければ会話を認めているので、和やかさはずいぶん戻ってきています。しかし机は間隔を開け前に向けているので、コロナ禍前の給食とはやっぱり違います。

今日の子供たちの様子を見て、楽しく食べるって大切だなと改めて感じました。グループで顔を向き合わせて食べるように戻すタイミングを、様々な情報をもとに検討していきます。

「おべんとうの日」いい取組だと思いました。